

平成28年度
教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書
(平成27年度事業対象)

平成28年11月
えびの市教育委員会

1 自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成20年4月から、教育委員会の権限に属する事務についての自己点検・評価制度が導入されました。

教育委員会が、地域の教育課題に応じた基本的な教育の方針・計画を策定し、これに即して実施した政策について政策効果をしっかりと把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

このような観点から、えびの市教育委員会では、平成19年度事業分から毎年度、法の趣旨にのっとり具体的な内容の点検・評価を行っています。

2 具体的な点検・評価の方法

次の3つの項目に分類し、シートは、教育委員会の活動及び会議内容について重要度と実現度を組み合わせた表を活用しました。

- ・シート1・・・教育委員会の活動
(教育委員会の活動及び運営状況等)
- ・シート2・・・教育委員会が管理・執行する事務
(えびの市教育長に対する事務委任規則により教育長に委任されていない事務)
- ・シート3・・・教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務
(「平成27年度えびの市教育基本方針教育施策」に定めた重点的な施策)

3 重要度の考え方

教育委員会が管理・執行する事務については、えびの市教育長に対する事務委任規則に列記されている教育長に委任されていない事務であるため、重要度は、すべて「高」としています。

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務については、「平成27年度えびの市教育基本方針教育施策」に定めた重点的な施策を抽出しているため、重要度は、すべて「高」としています。

4 実現度の考え方

過去の評価等と比較しながら、目標に対して概ね実施できたものは「高」、ほとんどできなかったものは「低」、それ以外を「中」としました。

なお、対象年度に事例がなかったものは記載しませんでした。

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート1（平成27年度事業）

大項目	中項目	小項目	点検・評価										
1 教育委員会の活動	(1)教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○平成27年度は、14回開催した。（平成26年度）は15回） ○毎月の定例会と必要に応じて開催する臨時会で適切に対応できた。
				○									
	②教育委員会会議の運営上の工夫	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度						○				○行事等と定例会を同日開催したり、会議資料を事前送付するなど、効率的な会議運営を行った。	
			○										
(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度						○				○会議開催を事前に公表しているが、傍聴者はなかった。	
		○											
②議事録の公開、広報・公聴活動の状況	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度						○				○えびの市情報公開条例の規定に基づき対応しているが、平成27年度は公開請求等はいなかった。		
		○											
(3)教育委員会と事務局の連携	○教育委員会と事務局の連携	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○常に連携を取り、市教育行政の推進に努めた。	
		○											
(4)教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度						○				○総合教育会議を2回開催し、意見交換を行った。また、例年開催している教育関係者交流会は、台風接近により開催できなかった。	
		○											
(5)教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○市町村教育委員会研究協議会、県市町村教育委員会連合会研究大会、西諸県市町村教育委員会連合協議会研修会等に参加した。	
		○											
(6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○5月12日、14日に、市内全学校の学校訪問を行った。 ○各学校の行事・発表会や市教委主催の報告会に各委員が出席した。	
			○										
②所管施設訪問	実現度↓ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度						○				○5月14日に、学校給食センター、文化センター、資料館及び市民図書館を訪問した。 ○各体育施設等について、随時、各委員が訪問した。		
		○											

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート2（平成27年度事業）

大項目	中項目	小項目	点検・評価									
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 学校教育又は社会教育に関する基本方針を定めること。	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							○平成28年度えびの市教育基本方針、教育施策を策定した。
			○									
	(2) 学校、公民館及び図書館の設置、及び廃止を決定すること。	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度										○平成27年度は、なかった
(3) 教科内容及びその取扱いの一般方針を定めること。	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							○各学校の経営方針や教育課程の承認をした。	
		○										
(4) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免、その他の進退について内申すること。	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				○県教委から求めのあった任免等について、内申を行い適切な人事運営を図った。	
		○										
(5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							○職員服務規程（平成18年宮崎県教育委員会訓令第2号）及びえびの市立学校管理規則で規定されている。	
		○										
(6) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				○県費負担教職員の人事については、県教委への内申を適切に行った。 ○懲戒については、市町村立学校職員の懲戒に関する条例（昭和31年宮崎県条例第39号）及び市町村立学校職員の懲戒に関する規則（昭和31年宮崎県人事委員会規則第9号）を準用する。	
		○										
(7) 県費負担教職員以外の校長の任免を行うこと。	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度										○平成27年度は、なかった。	
(8) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				○第13回及び第14回教育委員会会議で、平成28年4月1日付人事異動に関する議案を承認した。	
		○										

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート2（平成27年度事業）

大項目	中項目	小項目	点検・評価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(9) 学校、公民館、及び図書館の敷地を選定すること。	実現度 ↑ ☐ ☐ ☐ → 重要度	○平成27年度は、なかった
	(10) 1件500万以上の工事の計画を算定すること。	実現度 ↑ ☐ ☐ ☒ → 重要度	飯野小校舎外壁改修実施 上江小プール改修実施 岡元小管理棟屋根改修実施 飯野中屋内運動場外壁改修工事実施 真幸中学校外壁改修工事実施
	(11) 教育委員会規則・告示及び訓令の制定又は改廃を行うこと。	実現度 ↑ ☐ ☐ ☒ → 重要度	○条例制定改廃 2件 ○規則制定改廃 7件 ○告示制定改廃 7件 ○訓令制定改廃 1件
	(12) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること。	実現度 ↑ ☐ ☐ ☒ → 重要度	○平成27年度予算の補正、平成28年度当初予算、条例等の制定改廃等の原案について会議で決定した。
	(13) 社会教育委員、奨学生選考委員、文化財保存調査委員及び図書館協議会委員を委嘱すること。	実現度 ↑ ☐ ☐ ☒ → 重要度	○各委員の選任について、事務局原案のとおり承認した。
	(14) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。	実現度 ↑ ☐ ☐ ☒ → 重要度	○平成27年度えびの市教育基本方針、教育施策の中で決定した。
	(15) 学齢生徒及び学齢児童の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。	実現度 ↑ ☐ ☐ ☒ → 重要度	○平成26年度に学校区境の調整区の一部見直しを行い、平成27年4月1日より施行し、柔軟な対応ができるようにした。
	(16) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定による点検及び評価に関すること	実現度 ↑ ☐ ☐ ☒ → 重要度	○平成26年度事業の点検・評価を行い、議会に報告するとともに、ホームページで公表した。

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート3（平成27年度事業）

大項目		中項目	小項目	点検・評価										
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	生涯学習	生涯学習推進体制の確立と学習環境の整備		実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度						○				○各種生涯学習講座の開催、出前講座の開催等学習体制の確立を図ることができた。
			○											
	学校教育	(1) 30人学級の全学年導入	①学力の向上	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○一人一人と向き合うきめ細かな指導ができ、基礎学力の向上が図られた。 ○学習習慣が身に付き、発言機会が増え、子どもが主体的に授業へ参加できた。 ○教室に余裕が生まれ、学習環境や学習形態を工夫できた。 ○提出物への的確で丁寧なコメントができ、学習意欲を高めることができた。
					○									
		②生徒指導の充実	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○一人一人に目が行き届き、いじめや不登校、問題行動等に素早い対応ができた。 ○友達同士が理解し合い、自己表現力やコミュニケーション力を育んだ。	
				○										
③信頼関係の深まり		実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○教師と子どもの関係が緊密化し、教育相談などを迅速かつ的確に行った。 ○子ども同士の信頼関係が深まり、学級にまとまりができた。 ○学級における一人一人の役割が充実し、所属感を高めることができた。		
		○												
(2) えびの市学校教育五つの挑戦	①ふるさと教育・キャリア教育への挑戦	ア. キャリア教育の推進 イ. 伝統芸能・伝統行事の継承活動の推進 ウ. 国際理解教育の推進	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○キャリア教育として、市内中学3年生及び2年生の飯野高校での集合学習を実施した。 ○各学校において、地域の伝統芸能等の継承活動を行なった。 ○ALT2名での「英会話科」「英語表現科」の推進を図った。	
			○											
②学力向上を図る指導への挑戦	ア. 一貫教育の推進 イ. 基礎学力の充実 ウ. 教職員の資質向上の充実 エ. 体験的な学習・問題解決的な学習の推進 エ. 能力・適性を生かす教育の充実 オ. 特別支援教育の充実	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○一貫教育の推進により市内小中学校の学力の向上が図られた。 ○市内小学校においても実力テストや英検Jr・を実施し、成果をあげてきた。		
		○												
③心の教育への挑戦	ア. 読書教育の推進 イ. 体験学習・社会奉仕活動の推進 ウ. 人権・同和教育の充実 エ. 道徳教育の充実 オ. 生徒指導の充実	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○各中学校区で一貫教育の更なる推進を図るために体験学習や社会奉仕活動を積極的に取り入れた活動を推進してきた。 ○平成27年度より「西諸みんなで人権を考える日」を設定し、学校だけでなく家庭でも人権に考える機会を作ることができた。		
		○												

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート3（平成27年度事業）

大項目		中項目		小項目	点検・評価										
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	学校教育	(2) えびの市 学校教育五 つの挑戦	④体育・健康教 育への挑戦	ア. 体育・健康教育の推進 イ. 薬物乱用防止の教育の推進 ウ. 食育教育の推進 エ. 部活動の推進 オ. 防災教育の推進 カ. 安全教育の充実 キ. 学校給食の充実 ク. 規範意識（基本的な生活習慣） の高揚	実 現 度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重 要 度						○				○真幸中、真幸小、岡元小で県の モデル事業として「体力向上研 究推進事業」を導入し、体育・ 体力向上を図った。 ○食育の推進として各学校の弁 当の日を実施してきた。 ○県の委託を受け「未来の防災に つなぐ」安全教育推進事業を実 施し、通学路の安全対策を図っ た。
				○											
⑤特色ある学校 の創造への挑 戦	ア. 特色ある教育の推進 イ. 学校支援地域本部事業を通した 地域人材活用の推進 ウ. 地域活動への支援 エ. 家庭教育への支援と連携した活 動 オ. 幼保・小・中・高連携の推進 カ. 学校運営協議会の活用	実 現 度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重 要 度			○							○幼保小連携・接続推進事業を行 い、幼児が小学校教育をスムー ズにスタートできるよう、また 「小1プロブレム」の対応を図 った。 ○学校運営協議会を設置し、学校 と地域住民との信頼関係を深 め、一体となって学校運営に取 り組んだ。			
		○													
(3) 学校の説明責任と教師の資質向上				実 現 度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重 要 度			○							○学校運営協議会を活用し、地域 への説明責任を果たすよう努 めた。 ○各種研修を行ったほか、教育研 究センターや各種研究部会の 積極的な活動を推進し、教職員 の資質向上を図った。 ○えびの市スーパーティーチャ ー制度の実施により教員の指 導力・授業力の向上が図られ た。	
		○													
(4) 学校施設・設備の整備充実				実 現 度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重 要 度			○							○飯野小校舎外壁改修実施 ○上江小プール改修実施 ○施設一体型小中一貫教育校敷 地造成工事実施 ○岡元小管理棟屋根改修実施 ○飯野中屋内運動場外壁改修工 事実施 ○真幸中学校舎外壁改修工事実施	
		○													

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート3（平成27年度事業）

大項目		中項目	小項目	点検・評価											
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	社会教育	(1)生涯学習の振興と社会教育の推進	①生涯学習の推進と内容の充実	ア. 家庭教育の充実 イ. 青少年教育の充実 ウ. 成人教育の充実 エ. 高齢者教育の充実 オ. 出前講座の啓発推進	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				○家庭教育学級を 13 の学級で開設した。 ○若者チャレンジプロジェクトマイカによるイベント実施と青少年育成市民会議と家庭教育学級合同でのネットラブル研修を開催した。 ○子ども会育成連絡協議会によるインリーダー研修を開催した。 ○生涯学習講座として、パソコン講座とポエム講座、油絵講座、ヒップホップダンス講座を開催した。 ○市民大学と市内4地区での女性ふれあい学級を開設した。 ○年間 55 回の出前講座を開催した。
					○										
	②社会教育関係団体の活動の充実	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				○社会教育関係団体への運営補助を行い、自主的な活動の推進育成を行った。			
		○													
③人権・同和教育の推進	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				○家庭教育学級での人権学習の開催や、「人権を考える市民のつどい」を総務課と共催し人権意識の啓発を図った。 ○集会所事業として人権問題等学習講座を開設して、人権同和教育の推進を図った。				
		○													
(2)生涯スポーツの推進	①スポーツ活動の推進	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				○スポーツ推進委員及び総合型地域スポーツクラブと連携し、ニュースポーツの紹介、実技指導を行い、生涯スポーツの普及を図った。 ○平成27年度から新たにスポーツ推進審議会を設置し、スポーツを推進するための審議を行った。			
			○												
②指定管理者と連携した体育施設の有効活用	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				○平成27年度から指定管理者制度を導入し、効率的な体育施設の管理・運営を行った。 ○指定管理者の発案により各体育館に掲示板やセンサーライトを設置するなど環境整備を行った。 ○飯野駅前地区体育館の雨漏り改修工事など比較的大規模な修繕を行い、施設の安全確保に努めた。				
		○													
③各種団体の指導・育成	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							○各団体と連携し、スポーツ大会を実施して競技人口の拡大に努めた。 ○全国大会、九州大会に出場する選手等に対して経費の一部を補助し、競技力の向上に努めた。				
		○													

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート3（平成27年度事業）

大項目		中項目		小項目	点検・評価										
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	社会教育	(3) 文化の推進	①文化活動の振興	ア. 指定管理者と連携した文化振興の促進 イ. 文化団体の育成 ウ. 指定管理者と連携した文化施設の活用	実現度↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○文化団体を中心とした市民参画型の各種事業を実施することで、地域文化の向上と活性化が図られた。 ○芸術文化協会、郷土芸能保存連合会等の育成を行った。 ○文化センター指定管理導入初年度は、指定文化事業だけでなく自主文化事業の取り組みや、土日の開館など柔軟な体制により利用者増加に努め、利用者数は40,092人であった。
					○										
②文化財の保護と活用	ア. 埋蔵文化財の発掘調査、保存と活用 イ. 歴史文化財保護 ウ. ふるさと教育の推進	実現度↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○年次計画により、重要文化財指定の島内地下式横穴墓群出土品の科学的処理や台座の作成、CTによる解析調査を実施し、考古学資料の保存整備に努めた。 ○県、市指定文化財をより良く活用するための維持管理や修繕、看板設置やマップ作成による文化財の紹介を行なった。			
		○													
③指定管理者と連携した資料館の充実	ア. 歴史民俗資料館の活用 イ. 歴史民俗資料の保存 ウ. 歴史民俗資料の調査研究及び公開 エ. 歴史民俗資料館ボランティアの養成	実現度↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> →重要度			○							○指定管理初年度は、開館時間を図書館の開館時間に合わせて9時開館とするなど、サービス向上に努め入館者数7,954人となった。 ○企画展示室の有効利用として、公募により利用者の募集を行い、民間主体の絵画や写真といった歴史民俗分野以外の企画展を受け入れるなど新たな取組も見られた。			
		○													

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート3（平成27年度事業）

大項目		中項目	小項目	点検・評価										
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	図書館	指定管理者と連携した図書館運営の充実	実現度 ↑<table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>→ 重要度			○							○市民図書館における登録者数が12,281人、来館者数が34,025人、貸出図書数が67,841冊となっている。 ○利用者の増加や利便性に向けて、定期的な「映写会」の開催や、図書館資料等の展示による「特集コーナー」の設置。毎週土曜日は、ボランティア団体と飯野高校生と図書館スタッフが連携して「おはなし会」に取り組んだ。 ○読書推進活動を積極的に推進し、多様な生涯学習の場の確立を図った。	
			○											
給食センター	(1) 安全で美味しい学校給食の提供	実現度 ↑<table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>→ 重要度			○							○栄養バランスのとれた献立を起案し、安全で美味しい給食を提供した。 ○米はえびの産を使用し、副食は県産・国産の食材を多く取り入れ、「ふるさと給食」ではえびの産牛を使用した。 ○給食主任会議を開催し、各学校との連携を深め、児童生徒が好きなメニューを選べるリクエスト献立を遂行した。		
			○											
(2) えびの市食育推進計画に基づく食育の推進	実現度 ↑<table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>→ 重要度			○							○栄養教諭が各学校において授業など、延 76 回の食に関する指導を実施した。 ○月 1 回発行の「献立表」及び年 6 回発行の「給食だより」により各家庭へ食に関する情報提供を行った。 ○各学校へ献立に使用する食材の情報提供を定期的に行い、食への関心を高めた。			
		○												
(3) 安全管理と衛生管理の徹底	実現度 ↑<table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>→ 重要度			○							○施設・調理設備・器具などについては、毎日点検確認を行い支障があればその都度迅速に補修・交換に努めた。 ○食材については、納入時からコンテナ積み込まで常に目視による異物混入防止に努め、温度管理の徹底に努めた。 ○納入業者に対して必要に応じて衛生管理の徹底について指導を行った。 ○調理・配送員に作業における安全確保と手洗・消毒の徹底及び自己健康管理に注意させることが出来た。			
		○												

総合評価

- 1 教育委員会の活動及び管理事務については、全ての分野について基本方針や施策を示し、実態把握・点検・指導助言・援助を適切に行い、改善を図っている。
- 2 学校教育については、2年目となる全学校全学年への30人学級編成の導入によって、一人ひとりと向きあうきめ細やかな指導、基礎学力の向上、児童生徒指導の充実が図られており、保護者及び教職員へのアンケートでも高い評価を得られるなど、同事業の定着化、さらなる推進が望まれている。また、最重要課題である小・中・高及び小・中一貫教育の趣旨徹底を図るとともに、教育課程特例校指定による特色ある教育課程の編成に取り組んだ結果、徐々に総合的な学力向上が見られてきた。えびの市学校教育五つの挑戦については、意識の高揚などなお一層の推進が必要である。

学校施設の整備については、26年度より繰り越しとなった、施設一体型小中一貫教育校設置のための用地造成工事が完了し、平成28年度実施の中学校校舎建設に向けた準備を進めた。また、市内小中学校プール改修工事については、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用し、27年度は上江小学校のプールに対し、29年度から中学校生徒も使用することを考慮した改修と老朽化対策に係る改修を行った結果、安全かつ快適な教育環境の整備を図ることができた。このほか、校舎外壁等の非構造部材の耐震対策、屋根改修など老朽化する施設の補修・修繕等を行い、児童生徒をはじめとする学校利用者の安全確保に努めることができた。
- 3 社会教育については、生涯学習推進のため出前講座・講師人材登録等の普及とともに、市民大学やパソコン講座や他3つの生涯学習講座を開設し、生涯学習の体制を強化した。また、家庭教育の充実を図るため、親育て講座・子育て支援講座・企業における家庭教育講演会を実施した。

文化振興においては、小中学校において芸術家を招聘しての鑑賞会を開催するとともに、コンサート及び市民が企画・運営する音楽会などを実施、文化センターの指定管理者制度の導入による運営に取り組んだ。

文化財保護については、「島内地下式横穴墓群」より出土した国の重要文化財に指定された出土品の保存科学的処理や、「第139号墓」より新たに出土した出土品の保存科学的処理とCTによる画像解析調査を行なった。

資料館運営についても、指定管理者による管理運営により、従来の資料館運営に加え、企画展示室の有効利用として、利用者の募集による企画展など新たな取り組みも見られた。

体育振興については、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等の関係団体の育成支援に努め、また、平成25年に新築した相撲場の活用事業として大相撲合宿を行い、市民が大相撲と触れ合う機会を提供した。各体育施設の管理を指定管理者による管理に移行し、民間活力による効率的な管理・運営を図った。

今後、さらに生涯学習の推進体制を図りつつ、心豊かな意欲ある人づくりのための各種事業に努めていく。
- 4 図書館運営については、平成26年度から新たな前年度までの指定管理者が実施していた事業のうち、市民目線に立った特色のある各種の講座や自主事業を継承しつつ、利用者の増加や利便性に向けて、新たな企画を行った。また、利用者の要望を考慮しながら図書資料等の充実や、「特集コーナー」の設置、来館者が快適に利用できるための施設整備に努めた。
- 5 学校給食については、安全でおいしい栄養バランスのとれた学校給食を提供するため、安全管理と衛生管理ならびに温度管理の徹底を図り、施設の維持管理及び調理器具の保守ならびに保温食缶の年次更新に努めるとともに、毎日の献立を工夫し、えびの産米を使った米飯給食を実施した。

また、食育の推進を図るため各学校において食に関する指導を行い、えびの産牛肉を使った「元気！えびのっ子ふるさと給食」や好きなメニューを自由に選べる「リクエスト献立」を実施し、「給食だより」等を発行して児童生徒や保護者に対して食育の大切さや食への関心を高めた。

えびの市学校給食センター建設は、防災食育センターとしての機能を併せ持つ施設として建設できるよう事業推進を図った。

宮崎大学 教育学部 准教授 遠藤 宏美 氏 の意見

1. 教育委員会の活動及び事務管理について

法令並びに平成27年度教育基本方針に基づき、概ね適切に事務執行されている。

なお、1－(2)「教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信」に関して、市HPや市の行政広報紙等で教育委員会の活動及び事務管理に関する情報を積極的に市民へ提供していくことで、さらに関心が高まると考える。

2. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

法令並びに平成27年度教育基本方針に基づき、概ね適切に事務執行されている。

学校教育については、平成26年度より全学校全学年で完全実施されている30人学級によって、一人ひとりと向き合うきめ細やかな指導が実現され、学習面・生活面での成果を上げている。「えびの市学校教育五つの挑戦」に基づいた、小・中・高及び小・中一貫教育、さらには幼保小連携の推進・徹底による継続的な指導も総合的な学力向上に貢献している。

社会教育については、生涯学習の推進体制を強化し、各種事業の充実、団体への支援が図られている。また、生涯スポーツに関しても競技者・団体・総合型地域スポーツクラブへの支援を通じ、市民の健康増進、体力づくり、技能向上に努めている。文化振興においては音楽会を企画・運営するなど市民の力が活かされている。文化財保護については適切な処理がなされているほか、調査による今後の研究成果が期待される。なお、指定管理者制度が導入された各種施設では、市民が利用しやすく、学習意欲の向上につながるような管理運営がよりいっそう望まれる。

指定管理者制度による市民図書館の運営管理に関しては、利用者の増加や利便性の向上を目指した施設整備や企画に意欲的に取り組んでいる。

学校給食については、えびの産米を使用した米飯給食やえびの産牛肉を使用した「元気！えびのっ子ふるさと給食」など、えびの市の特徴を活かした地元密着型の食育活動に取り組んでいる。また、安全で美味しく、栄養バランスのとれた学校給食の提供に向け、安全・衛生管理の徹底が図られている。

教育委員会による適正な事務の管理及び執行を通じ、えびの市の教育のさらなる充実・発展を期待する。